

平成31年度  
負担金の額及び徴収方法

一般財団法人近畿貸切バス適正化センター

1. 負担金の額

- ① 1両あたり1カ年・・・・・・・・・・・・・・・・ 4,050円
- ② 1営業所あたり1カ年・・・・・・・・・・・・・・・・ 41,710円

2. 負担金の徴収方法

(1) 負担金の請求

平成31年2月1日現在の貸切バス登録車両数（営業所数）をもって、1カ年分の負担金の額を算出し、期首において請求致します。

(2) 負担金の納付

上記（1）により算出した1カ年分の負担金を一括納付していただきます。

なお、分割納付を希望する場合は、1カ年分の負担金を半年ごとに分割して納付することができます。

(3) 負担金の精算

年度途中において事業計画の変更等が生じた場合の負担金の精算の要否については下表のとおりとなります。

事業廃止、許可取消	精算します
事業の休止、再開	精算します
事業の譲渡及び譲受	欄外記載（※1）
事業の分割、合併及び相続	欄外記載（※2）
事業計画の変更 ・区域の拡大に伴い、新たに適正化機関の管轄区域内に営業所を有することとなった場合 ・適正化機関の管轄区域内の全ての営業所を廃止し、当該区域内に営業所を有しないこととなった場合	精算します
事業計画の変更（上記以外）	精算しません

※1 年度途中に事業の譲渡及び譲受に係る認可を受けた事業者にあつては、譲渡人が負担金を一括納付していた場合には精算しないものとし、譲渡人が負担金を一括納付していない場合にあっては譲受人に対し未納分に係る負担金を請求します。

※2 年度途中に事業の分割、合併、相続の認可を受けた事業者にあつては、認可に伴い許可に基づく権利義務を承継することから精算をしません。

(4) 納付期限

別紙請求書に記載のとおりとします。

(5) 延滞金について

納付期限までに負担金の納付がない場合には、道路運送法（以下「法」という。）第43条の15第5項及び法施行規則第34条の10第2項の規定により、納付期限の翌日から負担金を納付する日までの日数1日につき1万分の4の延滞金を徴収します。

## 平成31年度 負担金の額の算出基礎

### 1 負担金の額

#### (1) 平成31年度負担金の単価

平成31年度事業経費	区 分	按分比	経 費	単 価
62,200,334 円	営業所数 (均等割)	5 割	27,695,440 円	41,710 円
	車両数 (車両数割)	5 割	27,730,350 円	4,050 円

※指定地域内の営業所数 664、車両数 6,847 両 (平成 31.2.1 現在)

負担金の単価については、平成 31 年度事業経費 (62,200,334 円) から平成 30 年度正味財産 (期末残高・20,448,152 円) の約 3 分の 1 を事業経費の一部として充当 (6,724,044 円) した後、この金額から雑収入等収入を減じた金額から算出しています。

#### (2) 事業者ごとの負担金の額

事業者ごとの負担金の額は、上記 (1) により算出した負担金の単価に本年 2 月 1 日現在における当該事業者の営業所数及び車両数を乗じ合計して算出しています。

### 2 負担金の算出方法

(1) 国土交通省自動車局旅客課長通達 (平成 29 年 3 月 31 日国自旅第 426 号) の「1. 負担金の額」「(1) 負担金の単価」の「ウ ア及びイを併用した数」を採用しました。

(2) 営業所数 (均等割) と車両数 (車両別) の按分については、平成 30 年度と同様に、それぞれの事業者の規模別相違と公平な負担を考慮し、また事業者が受け入れ易いと考えられる 5 : 5 としました。

### 3 その他参考事項

当適正化センターは、本年度 (平成 31 年度) から、指定地域内の各営業所に対して年 1 回の巡回指導を実施しますが、今後 3 年間 (2019~2021 年度・平成 31~33 年度) については、平成 30 年度末の一般正味財産を事業経費の一部として各年度ごとに均等に充当することにしています。

したがって、2022 年度 (平成 34 年度・一般正味財産からの充当なし) の負担金を試算しましたところ、1 営業所あたり 46,840 円、車両 1 両あたり 4,550 円となります。